



「ホタルの放流体験」は、豊かな自然を守っていききたいという地域の人たちと、自分たちの住んでいるふるさとについて学びたいという子どもたちと、郷土を愛する子どもたちを育てたいという学校、3つのニーズが1つになって行われています。もう10年以上続いています。

ホタルの放流 & ホタルの夕べ 【さしま少年自然の家との交流】

5月になると、4年生が歩いて「さしま少年自然の家」に行きます。地域の先生からホタルのお話を聞きます。そして、自然の家の水路にホタルの幼虫を放流します。



さしま少年自然の家は、学校から歩いて行くことができます。学習フィールドです。



鈴木先生の授業では、ホタルについていろいろなことを教えていただきます。

よましまわか
う放してでか
虫流たもりた
のののらまし
時をは絵せん
はれたはをせ
たのたは使
のでとて
まよめても
しのかよく
たはホタル
ののこ
のり説明



自然の家の水路にホタルの幼虫を放流します。7月の「ホタルの夕べ」に成長して飛びかう姿を見るのが楽しみです。

ホタルの幼虫をはじめて見た。この幼虫が成長すると、きれいな光を放って飛びかんだな！幼虫のときからおしりが光るとはおどろいた！



ホタル鑑賞会「ホタルの夕べ」には、4年生全員がつくった行灯が飾られます。行灯の光が会場まで案内します。

7月になると、地域の人たちが、さしま少年自然の家「ホタルの夕べ」に集まります。暗闇の中、ホタルの光が飛びかう様子はとても幻想的です。

ホタルの放流 & 鑑賞会 【地域資源保全協議会との交流】

むかし、兎谷津沼の付近では夏になるとたくさんのホタルが飛んでいた。だから、むかしのようにホタルが飛びかう自然豊かなふるさとにしたいと思います。

ホタル里親 鈴木隆保 先生談

地域資源保全協議会の開催する放流会と鑑賞会には、家族で参加します。地域でホタルの里を守っています。協議会の皆様には稲作体験や環境教育にも協力していただいています。



真っ暗な中にホタルが飛びかいます。大切なわたしたちのふるさとです。



4月に兎谷津でホタルの幼虫を放流します。7月まで成長を見守ります。



周りのゴミを拾って、きれいな水、ホタルの住みやすい環境を守ります。



【ホタルの住むきれいな水】水質検査、生き物の調査、稲作体験も行っています。

ホタルのいる町
森戸小学校一年 中村咲樹
わたしの町には、ホタルがいます。七月に、わたしは、ホタルのちゃんしようかに行き、はじめてホタルのことを学びました。
ホタルは、おすとめすがいて、めすのほうがおすより大きいこと、かぜがなくむしむしするようなたたかい目にきれいな田んぼや川ぎしで見る事ができるとおしえてくれるホタルの先生は、ホタルのことをたくさんはなしてくれました。
ホタルは、なかなか見ることのできないこんちゅうなので、びかびかひかっているホタルを見たわたしは、とってもきれいでうれしかったです。
わたしは、ホタルが見られるこの町がとても大好きです。そして、わたしは、ホタルがすめるきれいな町であってほしいと思います。

